

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり楽しく過ごしましょう」を理念としている	○	理念の裏付けとしてスタッフと話し合い、自分達も将来利用するならここが良いと思われるホームにしたいと取組んでいる
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	毎月の会議の中で話し合いを持ち、実現に向けて日々取組んでいる	○	個々をしっかりと見つめ、その人らしさや尊厳を大切にしながら理念の実現に向け日々努力していきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取組んでいる	契約時に家族に説明している 又、運営推進会議で話をしたり、毎月の広報紙に掲載している	○	今後も日々の活動の中で理念に向けた取組みを行っている事を、家族や地域の方々に理解してもらえるよう努力していきたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気軽に挨拶が出来、採りたての野菜や果物を頂いたり、徐々に近所の方々に理解されている ゆっくり話ができるように玄関にベンチを置いている		今後、より気軽に交流が図れる関係づくりに職員皆で検討し取組みたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加や、GHで開催する夏祭りを、地域住民と交流する場として参加頂いている	○	地域の行事や活動に参加し交流できる事がないか、皆で検討したり運営推進会議などで話し合っしていきたい

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の中で地区の民生委員の方々と話し合い、お役に立つ事がないか現在検討中です	○	在宅で一人暮らしのお年寄りが気軽に立ち寄れるような関係作りを実施していきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義は各自が実施する意義を理解し、サービス向上につながるよう努めている	○	今まで職員の異動があり、十分な研修や意義の理解までにはまだ至っているとは言えず、これから努めていきたい
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業報告の中でグループホームの日常生活や取り組んでいる事等を報告し、まずグループホームを知って頂き、運営推進会議での意見交流を今後のサービスに生かしていきたい	○	今後も定期的開催し様々な意見を頂き、サービスの質の向上に努めていきたい
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に南部地域包括センターの職員に参加を頂いたりしているが、市町村と共に行き来するまでには至らず検討して取り組める様に努めている	○	
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している入居者もあり、管理者は成年後見制度を学ぶ研修にも参加したり必要に応じてスタッフにも伝えている		更に深く学ぶ機会を持ち、必要な人に充分活用できるように支援していきたい
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	隣接の老健の中に拘束委員会があり、スタッフの中に委員として学んだ者がおり、日々のケアの中で具体的にどの様な事が虐待になるのか話し合い虐待防止に努めている		今後も継続していきたい

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用申し込み時に充分理解して頂けるよう時間をかけて説明し納得して頂き、面談を重ね話し合えるように対応している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	独自の「満足度調査」で利用者と家族からアンケートを頂き、その中で苦情や不満・意見等を聴く取り組みをし、意見や要望はスタッフ会議で検討され質の向上を図っている 安心相談員を受け入れており、月一回訪問あり	スタッフは日々の生活の中で不満・苦情を聞き逃さないよう心がけ、必ず申し送り等で情報の共有をし改善できる事は検討し実行している 今後も継続していきたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「GHだより」と「生活記録」で暮らしぶり等個別に郵送し、又は来訪時に報告をしている。「楽しみにしています」との声も聞かれるが、意見の引き出しに充分つながっていない	○ 今後も家族とは密に暮らしぶりや健康状態等を連絡し合い、信頼や関係作りを重ねていきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情対応の窓口を載せている。事業所独自の「お客様満足度調査」を実施し、不満・苦情を表せる機会を作っている	遠慮なく意見や苦情を表せるような関係作りにも今後も努めていきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議を月に一度設け、その中でスタッフの意見や提案を聞き運営に反映させるよう努めている	○ 今後も継続していきたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況に応じた勤務体制の調整に努めており、外出時や行事には通常以上の職員体制で対応している	

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	今後も継続していきたい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	各自が向上心を持って働けるよう、今後も努力していきたい

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人との事前面接の中で話をよく聴き、話す一言一言を大切に表情や動作等も観察し受け止める努力をしている	○	午前・午後のお茶の時や散歩に出た時に、さりげなく困っている事や悩みを聞くように努め本音が言える雰囲気作りの継続
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	老健の相談員とも連携しており、相談内容によっては求められているサービスを見極め対応している		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けながらアセスメントし、求められているサービスが何であるのかを見極めながら対応するように心がけている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する前に家族と本人に見学やお茶飲みに来て頂いたり、他の入居者の方にも加わって頂き様子や表情を観察しながら、家族と相談しながら対応している	○	状態・状況に応じて、実費でも良いから試しに一日様子を見て欲しいと言う希望者の意見を、実現に向け取り組んでいけるよう努めていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごす中で支え合ったり学んだり、共に何かをする事で笑ったり楽しい時間を共有している 郷土料理を教えて頂く事もある		

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事などの案内をし一緒に参加してもらうなど交流を深め気軽に相談や話が出来るように心がけている。又、訪問時には時間を設けお茶を飲みながら思いや願いを聴くように努めている	○	
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状況が変化した時等は随時家族に連絡しながら、個別に良い関係が築ける支援を行っている。家族から庭の畑に花を育てて頂いたりもしている		絶対に面会や行事に来て頂けなかったお嫁さんとの関係作りが良好になり、お嫁さんが友好的になった
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達や親戚などが面会に来ている 家族等の協力を得ながら墓参りや外出・外泊をしている		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家事参加の中で支え合えるような関係作りや、入浴時に中の良い方と一緒にさり気なく仲間作りができるよう支援している		今後も継続していきたい
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	隣の老健に入所されたり特養に入所されても、本人に会いに行ったり家族と話をする等している。入院された場合でもお見舞いに行っている		

グループホームコスモス長野・1階

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「個別援助計画書」の作成を取り入れ、生活の中から望む暮らしに近づけるよう取り組んでいる。時々本人と話し合い希望や要望を聴いたりする	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期のアセスメントで個々の生活歴や生活環境等々をお聴きし、スタッフと共に情報を共有しその人の暮らし方の把握に努めている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	顔色・表情・体調等を様子観察しており、日々の状態を常に把握しながら時には「休みましょうか？」と声を掛け無理のない日常を過ごして頂けるよう努めている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	実地指導では、介護計画の作成時にはスタッフの中に専門職の方も参加され、より多くの方々の意見も取り入れていく方向も必要と言われ、見直しを検討している	○
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個々の状態に合わせ変化が生じた場合は家族にすぐ連絡し現状を報告し、計画を見直している	本人がより良く暮らす為にも、今より更に充実した介護計画を作成していきたい 今後も継続していきたい

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りの中でやってみた事や気づいた事を話し合ったり、ケース記録を通して情報を共有しながら実践している	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接の老健のPT・看護師・STなどにアドバイスをしてもらった事もある 同法人にGHが二ヶ所あるが、連携しながら運営する部分もある		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーに民生委員の方もおり、必要に応じて協力を得ている	○	今後も継続していきたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接の在宅支援センター・包括支援センターのケアマネと常に情報の共有をしたり、必要に応じて相談している		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方が運営推進会議に常に出席して下さっている 必要に応じて協働していく体制を作りあげている	○	

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	重要事項にも含まれており、今後も家族と十分な話し合いを繰り返し慎重に検討し具体的な指針を皆で共有していきたい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人と家族の気持ちが一致しない場合が多く、住み替え時にはまず本人の意思確認を十分に行い、家族と話しケア関係者に情報提供を行いダメージを防いでいる	○	将来は特養の方に家族が申し込みされるが本人は住み替えを希望せず、家族・本人・ホーム長を交え十分な話し合いの元で本人の意思を尊重し家族にも理解して頂いた例もある
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報情報はホーム内で管理をしている言葉かけや対応でもプライバシーを守り、個々の人格を尊重した対応を心がけている		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	朝の新聞読みを基にして個々の気持ちや希望をお茶を飲みながらゆっくり表出できる雰囲気作りや、難しい言葉等は使用せず本人の能力によって支援している	○	今後も個々に合わせて、自己決定や希望が表出できる場面を支援していきたい
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースを守り生活している方も多く、日頃の生活パターンを大切にしていけるよう、又、充実感が得られる暮らしの支援に努めている	○	入居者の高齢化が進み個々の生活スタイルを尊重し、休みたい時などは無理強いせず本人に合わせている。今後も継続していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服を選んだり、時々ビューティーボランティアさんがみえ化粧をして頂いたりしている。希望があれば美容院にカットに行き、身だしなみやおしゃれの支援をしている		

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>盛り付けの色合いや食器等に気を遣い、楽しい食事が出来るように今後も工夫したり一緒に楽しみたい</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>個々の好きな物を熟知しているので、日常的に好みの物を楽しめるように今後も心がけていきたい</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>オムツによる機能低下や弊害を学び、筋力アップ体操や、入浴しない時には陰部清拭で常に清潔を保っている</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>気分やタイミングを常に考え気持ちよく入浴できるように努めたい 希望する時間帯の入浴にも柔軟な対応ができるよう検討していきたい</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>休息は状態や体調に応じて支援し日中の活動を大切に安眠支援に心がけているので、眠剤内服者はいない。今後も継続していきたい</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>畑で採れた野菜の収穫や外出、食事作りの楽しみ等々、一人ひとりに応じての支援を今後も継続していきたい</p>

グループホームコスモス長野・1階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金を所持している方はいないが、個々の能力に応じて紙幣を確認したり計算の仕方等をして支援できるような体制をとっている	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に天気の良い時は運動も兼ね散歩に出掛けたり、戸外で食事やお茶を飲んだり支援している		春はお花見、秋には紅葉狩りと季節を感じながらドライブや外食も実施したり、近くの公園にお弁当持参で気分転換をしている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力の元、お墓参りや友人との面会、自宅への外泊の支援を行っている 季節によって花見や紅葉狩り、外食に行くなどの支援をしている		各所や外での行事や催事に参加できるよう心がけている
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	「葉書きでの親孝行」の話しを家族にさせて頂き、面会に来られない時は葉書きを下さいと提案してから、本人も葉書きを書く意欲が出たり希望があれば電話をかけた取り次ぐ支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者と共に楽しく会話ができるよう、椅子とテーブルを用意しお茶を出したりゆっくり過ごせるように気を配っている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃よりスタッフと共に身体拘束をするリスクを学び理解やケアの取り組みをしている		

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	日中は玄関が開くと鈴が鳴って開閉がわかる様に工夫して対応している
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		歩行不安定な入居者には靴に鈴をつけて動きが確認できるようにしている 常に安全に過ごせるように配慮していきたい
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		一人ひとりの能力に応じて管理を行っておりハサミや針の使用時には必ずスタッフが側にいる事を原則としている
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	勉強会、研修を設けながら事故防止に向けた支援をしていきたい
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	全スタッフが対応できる様、訓練や勉強会をしていきたい
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	消防訓練を行っている スタッフは避難経路を把握している運営推進会議等で地域の方々に協力をお願いしている

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の面会時や電話で状態・状況を説明した上で本人にとって一番良い方法や対応を一緒に考え話し合っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタルチェック、排便排尿チェック、水分・顔色・表情を観察し変化や異変の早期発見に努めている 異常や異変の場合は連絡図でNSや管理者に連絡している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケース記録に内服薬の名前と用量が記録されており隣接のクリニック・訪看にも把握が出来ているが全スタッフが副作用まで把握している段階には至っていない	○	全スタッフが薬の目的や副作用を理解し一人ひとりの状態に応じた服薬の支援が出来るように努めていきたい
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取を多く心がけたり、筋力体操、散歩など適度な運動を促している 健康チェック表で排便の確認を行い必要に応じた排便の対応を行っている	○	
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアと義歯清浄に努め、夜は義歯洗浄剤を使用している 協力歯科医の医師が口腔ケアの勉強会を開いて下さりスタッフに指導してくれる	○	
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録があり毎日記録しており水分量も補充不足の方には好みの物や体調に合わせ対応している		

グループホームコスモス長野・1階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対応マニュアルがあるノロウイルスの対応は保健所で実施する研修に参加したり勉強会を開催している	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は月～土曜日の毎日配達されており新鮮で安全な食材の使用に努めている 毎日、まな板・ナフキン・雑巾は消毒を行っている	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの玄関先に季節の花を植えたりベンチを置いていつでもゆっくり出来るような雰囲気や気軽に立ち寄って頂けるように玄関の戸を開けておいたり心がけている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	陽射しの強い南側に背の高いひまわりや朝顔等で自然の心地良い光が入るように工夫したり、ホーム内には季節の花や手作りの作品を飾っている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの中にソファを置いたり畳コーナー等が置いてある		

グループホームコスモス長野・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームコスモス長野・1階

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

『スタッフとの話し合いの中から「自分が利用者になった時にここに入所したい」と言えるホーム作りを目指していきたい』との思いの中、日中の活動の充実を図り安眠支援につながる生活を考え薬での対応をすべてやめたところ、まず夜中の失禁者が少なくなった事に気づき徐々にリハビリパンツ対応者を日中尿取りパットのみで過ごして頂き段々に慣れてもらい現在ではリハビリパンツでの対応者と眠剤内服者はおりません。人として最後までプライドの持てる人格でありたい部分を失うことの無いよう最善を尽くして守ってあげたいと思っています。安眠支援とオムツにさせない事に努力しています。